



無所属 鈴木健一

家庭系ごみの有料化

有料化の時期を延期するべきではありませんか。

近隣自治体と足並みを揃えて実施します。

それは、有料化に反対でも、近くの自治体も同様なので、仕方がないという理屈ですか。

説明会の中で理解していただきます。

過去の一般質問で、一つの自治区で最低複数回説明会を行うと答弁がりましたが、現在どうなっていますか。

新型コロナウイルスの影響もあり、行えていません。

移行期間を設ける考えはありますか。

市民周知に努めてきたので、移行期間を設ける考えはありません。生活困窮者への支援の再考を求めますが、どうですか。

負担増加額が1カ月140円程度と少額のため、一律の減免措置はしません。

一律の減免はしないとの答弁でした。個別なら受付けるとい理解でよろしいですか。

生活状況を確認し、対応してまいります。

新型コロナウイルス関連事業

接種会場や人員配置など、どのような体制で接種を行いますか。

市内の医療機関45か所と集団接種会場4か所を確保しています。

他県の事例で、PCR検査を受けられないまま亡くなった方もいます。広く検査を行うべきではありませんか。

少しでも具合が悪い方は速やかに医療機関を受診して下さい。

地方創生臨時交付金を使い、感染症対策として、どのように活用しましたか。

国からの交付限度額は9億3459万6千円です。32のコロナ対策事業に活用します。

ワクチンの接種が進み、市内に「これで大丈夫」という空気が流れる事を心配しています。基本的な予防策を続けていく事が大切だと思いますが、どうですか。

市民が安全で、安心に暮らしてもらえるよう施策を講じていきます。



創造みらい半田 竹内功治

半田赤レンガ建物に対する取組み

令和2年4月より指定管理者が株式会社トヨタエンタプライズに替わりましたが、運営面では何か変わりましたか。

来館者をお出迎えするアテンダントデスクを設置し、新管理者のノウハウを活かした丁寧な案内を行っています。

集客数を増やす取組みは行っていますか。

名鉄とタイアップしたキャンペーンを実施しました。今後、新美南吉記念館との共通入場券の販売を考えています。

未公開である2階から5階の公開や活用の計画はありますか。

公開には建築基準法等のクリアに向けた多額の費用が掛かるため、費用対効果を考慮して慎重な計画を模索しています。

未公開の階を紹介するパネルの作成など、魅力を伝えるための取組みを考えてはどうですか。

パネルの作成やVR体験など、魅力が伝わる取組みを考えます。



文化財としての情報発信を行うため、専門的に管理する者を配置してはどうですか。

文化財としての魅力の深堀りは重要と認識しており、博物館の学芸員の定期的な点検や展示方法のアドバイスなどの協議や調整を進めます。

子ども達が施設や資料を見学し歴史を学ぶことで半田への愛着と誇りの醸成に繋がります。小中学生が見学する機会を設けてはどうですか。

小中学生の一律の見学は学習カリキュラムの時間的制約があり簡単ではないため、学校への出前講座のメニューに半田赤レンガ建物に関することを追加します。

小中学生の常設展示室の見学は無料ですが子どもだけで見学はしません。保護者同伴なら大人も無料や減額、記念品の配布など、子どもが関心を持てるきっかけ作りを考えてはどうですか。

検討します。

知多半島の他の施設と連携していますか。

施設間の連携の可能性を研究・協議します。

知多半島の他の施設と連携していますか。



創造みらい半田 芳金秀展

半田市役所における働きやすい働きがいのある組織づくり

アフターコロナに向けて、時差出勤や在宅勤務など多様化した働き方を、市民サービスや組織改革のきっかけとしていく考えはないでしょうか。

市民サービスの多様化は今後検討していきますが、組織改革としては精査し定着を図っていきます。

育児休業に伴う昇格・昇給の扱いについて、育児による能力向上や組織内の理解促進、ワークライフバランスの健全な取組みのためにも、制度の在り方を見直ししていかなくてはいいですか。

育児休業の取得を推奨していき考えに変わりはありませんが、現時点では継続扱いとするまでの制度変更は考えておりません。しかし、他市町では継続扱いとする事例もあり、検討課題としていきます。

女性職員の管理職登用について、組織の

在り方や昇格昇給などの人事制度にも課題があると考えます。クオータ制やパリティ法など外国の制度も参考にしながら男女共同参画を進めるべきではないですか。

制度の制定までは考えておりませんが、公平性や社会全体の流れも勘案しながら、検討はしていきたいと考えています。

コロナ禍で職員の研修が予定通りできませんでしたが、代わりに個人のオンラインの学びや、地域での個人活動による学びが選択肢として広がりました。今後、より選択肢の広い研修のメニューを提供してはどうですか。

研修の在り方を見直し、多くの職員に公平に効果的に機会を提供し、職員のライフスタイルや社会情勢に応じた研修体制づくりを続けていきます。



SDGsの7-4, 5, 8, 19達成に向けての取組です。



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)